

市政を問う!

12 議員が登壇 (一般質問)

阿蘇医療センターについて



市 原 正

市原 医療センターの職員採用についてだが、現在の職員数とセンター建設計画の当初の職員の予定数は。

井野医療センター事務局長 職員数ですが、現在129名です。平成22年5月に策定された基本計画では141名となっています。

市原 市民の皆さんから聞く声の中でドクター不足がかなりのウエイトを占めているが、医療センターの機能を満たす上で職員数は現在のままでいいのか。

事務局長 医師が15名の計画に対して現在9名ですし、看護師もまだ足りない状況にありますので、継続して不足する医療職員の募集を行い、採用できるよう努力をしていきたいと思っています。

市原 26年度は2億数千円円の經常損失、市民の皆さんの一番の心配事である医療センターはこのままで大丈夫なのか?。先般、波野地区の市民の方から「医療センターを作っ

たんだから、何とかそれを黒字にして当初の目的が達成されるように議員も頑張ってほしい」と声をかけられたが、単年度黒字化の目標年度と、その根拠は?また、市民の皆さんの負託に答えられるような努力を期待したいが?

事務局長 28年度以降の黒字化を目標にしております。本年4月から常勤医師が4名増え、入院・外来患者の増加により、入院収益や診療料等の増収が見込まれることと、11月に国認定の病院経営アドバイザーの経営分析と改善策の助言をいただく経営指導を予定しております。診療はもちろん経営も市民の皆様の負託に応えられるように努力したいと思っています。

市町村第436号
平成27年6月29日

阿蘇市長 様

熊本県総務部市町村・税務局市町村課長

地方公営企業等経営アドバイザー派遣事業に係る派遣団体の決定について (通知)
このことについて、総務省自治財政局公営企業課長から通知があり、貴団体(病院事業)が派遣団体として決定されましたので通知します。
なお、派遣事業に係る日程調整につきましては、別途連絡します。
また、日程調整後は、別紙事業計画書(別記様式3)につきまして速やかに提出いただきますようお願いいたします。

病院経営アドバイザーの派遣決定通知書

空き家対策・定住化促進・サービス付き 高齢者住宅について



森 元 秀 一

森元 阿蘇市として5年後を見据えた高齢者施設の展開について説明を求める。

佐藤市民部長 国の方策としても施設介護から在宅という形で来ております。それに沿って進めてまいりたいと思っていますが、阿蘇市のニーズ、住民の皆様のご意見を取り入れながら要望を整理して今後十分、関係部署で意見を交換しながら、方針を決めていきたいと思っています。

吉良経済部長 経済部としては、空き家対策の中で今後どのように対応できるか。今までの枠では、経済部としては、まちづくりと観光・農業・農業委員会ですが、その中で福祉という分野も入ってくるということで、庁内の中で連携しながら動向を見ていきます。

防災行動計画(タイムライン)について

森元 国・県の取り組みも明確になったが市としての取り組みについて

て答弁を。

高木総務課長 近年の傾向であるゲリラ豪雨に対してはそぐわないが、台風に対しては有益であります。現在、市では警戒時にやらなければならないことを段階的にまとめたチェックリストを作成し対応にあたっています。予防的避難もそのひとつであります。

子育て支援について

森元 赤ちゃん駅登録推進事業、移動式赤ちゃん駅を推進することによって、子育て支援のひとつになっていくのではないかと思うが市としての考えは。

山口福祉課長 赤ちゃん駅登録事業というのは、観光マップに授乳やおむつ替えができる施設を表示し、子育て世帯にとって赤ちゃんとの外出に役立つというものです。阿蘇市は、観光地ですから阿蘇市民も、また阿蘇市へ観光客としてお越しただく子育て世帯にとって大いに役立つものと思います。子育て支援だけでなく、観光の面でも大いに効果があると思っていますので、今後前向きに検討してまいります。移動式については、簡易テントですので、イベントを所管する部署と今後検討について話し合っていきます。

一の宮中学校門横通学路の早急な整備を！



古 木 孝 宏

古木 校門横のコンビニから新グラウンドに向かう通学路の交通量が非常に多く危険である。拡幅の計画は、

阿部建設課長 現在整備計画はありません。今後、教育課からの相談があれば、財源問題もあるので関係課と協議を行い検討したいと思っています。

古木 教育課と相談じゃなくて現状を見れば狭く車の離合もできない。坂梨、波野方面は合併当初計画されていた8m道路も出来ていない。新グラウンド、統合小学校の開校も控えて現在通行に非常に支障をきたしており、早急な対策が必要ではないか。

佐藤市長 中学校のグラウンドも広くなり競技も盛んに行われてくれれば、安全面も考慮しなければならぬ。また8m道路も計画変更になり、坂梨波野方面からの道路整備が必要であり、早めに対応したいと思います。

古木 通学において、基本的には歩行か自転車であると思うが、雨天時等を含め、非常に保護者の送迎が

増えていると思う。現在乗降場所が市役所に設定されているが、朝夕交通量の多い時間帯でもあり乗降場所の柔軟な対応はできないか。

仮設住宅の今後の利用は

古木 仮設住宅の入居者が8月末までとなっているが基礎工事もしており今後の有意義な活用はないか。

古閑住環境課長 再建支援住宅の今後の取り扱いが決まっています。自宅再建が間に合わず、8月までに契約着工されている入居者においては、自宅が完成しだい退去頂く予定です。補助事業で改修しており、県の承認が必要であるため、民間払下げも含め、いろいろな方法を視野に入れ、県と共に検討したいと思っています。

他に、「防火水槽関連」の質問がありました。



グランド方面からの通学路